

# 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

## 平成22年度 岸本基金研究助成 応募要領

### [助成の主旨]

当財団の研究助成は、平成22年度より「岸本基金」から寄附を受け「岸本基金研究助成」として応募を受付いたします。

\* 岸本基金は、関節リウマチなどの自己免疫疾患の研究・治療において重要な分子IL-6の発見、及びIL-6受容体抗体の開発を行った岸本忠三氏(元大阪大学総長、公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団理事長)によって2008年に設立されました。

### [助成のあらまし]

ライフサイエンスは、理学・工学・農学・医学・薬学などの自然科学から人文・社会科学領域までを包含する総合的科学分野であり、この分野の最先端の基礎的知見が直ちに新技術、新製品の開発に応用され、また、新技術の開発が基礎研究の発展に影響を及ぼすという特性を持っています。そして、医薬品の開発、生物の改良、微生物・動植物細胞による有用物質の生産から生体機能のエレクトロニクスや情報分野への応用まで、様々な分野での産業利用が行われています。ライフサイエンス分野の研究・開発は、この意味で大きな波及効果を基礎研究、応用開発、産業・地域振興にまで及ぼすものと言えます。

生命を改めて総合的に捉え直すという新たな展開が始まった今、科学技術とその応用に根源的な影響を及ぼすという使命さえ帯びています。

当財団では、これらライフサイエンス分野の優れた研究に対し研究費助成を行うことにより、その成果が研究活動の活性化、新しい研究活動の萌芽へと発展し、ひいては産業の活性化、市民生活への還元へと続くものと確信しております。

| 項 目        | 内容及び留意点等   |
|------------|--|
| 1. 対象となる研究 | (1)生命現象の解明<br>(2)健康の維持増進と疾病の予防・治療<br>(3)生物およびその諸機能の産業への応用<br><br>を基本的な分野とし、独創性・先行性があり、かつライフサイエンス振興への波及効果が期待できるものとします。                        |
| 2. 応募者の資格  | 応募者の資格は、日本国内で次の研究機関に所属する研究者とし、かつ所定の推薦を受けたものとします。<br>(1)大学<br>(2)その他の研究機関<br><br>『研究助成』は、若手研究者が行う独創的な研究テーマに対し行うものであるため、昭和45年4月2日以降に生まれた方とします。 |

|            |  |  |
|------------|--|--|
| 3.助成金額     | 1件 200万円とします。  |  |
| 4.申請書の作成   | 『研究助成』申請書に必要事項を記入し、推薦書と共に当財団宛送付してください。   |  |
| 5.推薦       | 推薦者  | 申請者の所属機関長等、又は当財団の理事・評議員                |
|            | 推薦件数   | 限定しませんが、広い視野からご推薦ください。                 |
|            | 推薦手続   | 当財団所定の推薦書に必要事項を記入し、申請書と共に当財団宛送付してください。 |
| 6.応募期間     | 平成22年7月1日(木)～平成22年8月27日(金)   |  |
| 7.選考       | (1)当財団の選考委員会で候補者を選考の上、贈呈者を決定し、速やかにその採否を本人及び推薦者に通知します。<br>(平成21年度は、12月初旬に通知しております)<br>(2)本年度の採択件数は、10件程度を予定しています。 |  |
| 8.研究助成の贈呈式 | 採択されたものに対する助成金の贈呈式は、平成23年1月末ごろを予定しています。  |  |
| 9.報告       | 助成金の受領者は、研究終了後6ヵ月以内に当財団所定の報告書を提出してください。<br>なお、報告内容は公表する場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、財団の主催する講演会等の講師を依頼する場合があります。     |  |

注意事項: 1. 申請書の文字サイズは、10.5以上を使用すること。

2. 申請書は、白黒コピーにて審査するので分かり易い図・表にすること。

整理No.  
S -

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

『岸本基金研究助成』候補推薦書(平成22年度分)

平成22年 月 日

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

理事長 岸本 忠三 殿

推薦者 ふり がな 氏 名 \_\_\_\_\_ 印

所属機関名 \_\_\_\_\_

役職及び専門 \_\_\_\_\_

所属機関所在地 〒 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

下記のとおり『研究助成』の候補を推薦します。

|                       |                             |   |      |  |
|-----------------------|-----------------------------|---|------|--|
| 研<br>究<br>代<br>表<br>者 | <small>ふり がな</small><br>氏 名 |   | 生年月日 |  |
|                       | 所属機関名                       |   |      |  |
|                       | 同上所在地                       | 〒 |      |  |
|                       | 役職・専門                       |   |      |  |
| 研究題目                  |                             |   |      |  |

整理No.  
S -

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

『岸本基金研究助成』申請書(平成22年度分)

平成22年 月 日

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

理事長 岸本 忠三 殿

ふりがな

申請者 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり『研究助成』を申請します

|                   |       |  |                          |                         |
|-------------------|-------|--|--------------------------|-------------------------|
| 研究<br>代<br>表<br>者 | 氏名    |  | 生年月日                     | ( 才)                    |
|                   | 所属機関  |  |                          |                         |
|                   | 役職    |  |                          |                         |
|                   | 同上所在地 |  | 電 話<br>F A X<br>E - mail | TEL:<br>FAX:<br>E-mail: |
|                   | 自宅住所  |  | 電話番号                     |                         |
| 研究<br>題<br>目      |       |  |                          |                         |

## 教育歴

1. 卒業大学・学部・学科・卒業年

2. 卒業大学院・専攻・卒業年・学位

## 職歴

## 現在の専門

## 1 研究計画

具体的な研究実施の計画を、例えば何を、いつ、どこまで明らかにするなど箇条書きで、分かり易く記入してください。

## 2 今回研究の独創的な点

### 3 助成金の使途

|           |
|-----------|
| 研究費全体の予定額 |
|-----------|

|    |
|----|
| 千円 |
|----|

#### [助成金使途の内訳]

- (1)機械・器具・備品費      (2)消耗品費      (3)資料費      (4)印刷・複写費
- (5)交通、通信、運搬費      (6)研究人件費(研究協力者謝金・研究補助者謝金)
- (7)その他経費等
- (使途予定を 印ください)

### 4 関係する助成・申請の有無

過去5年間に他の機関から助成金を受けられた場合、またはこの申請と同時に他の機関に対して助成金等の申請中のものがありましたら、その相手機関名、時期、題目、金額等について明細を記入してください。

## 5 現在までの業績等

過去5年間における研究論文、著書または業務上の顕著な業績を記入してください。  
(論文の著者名は、全員を記載すること)